

2025年度町田市行政経営監理委員会

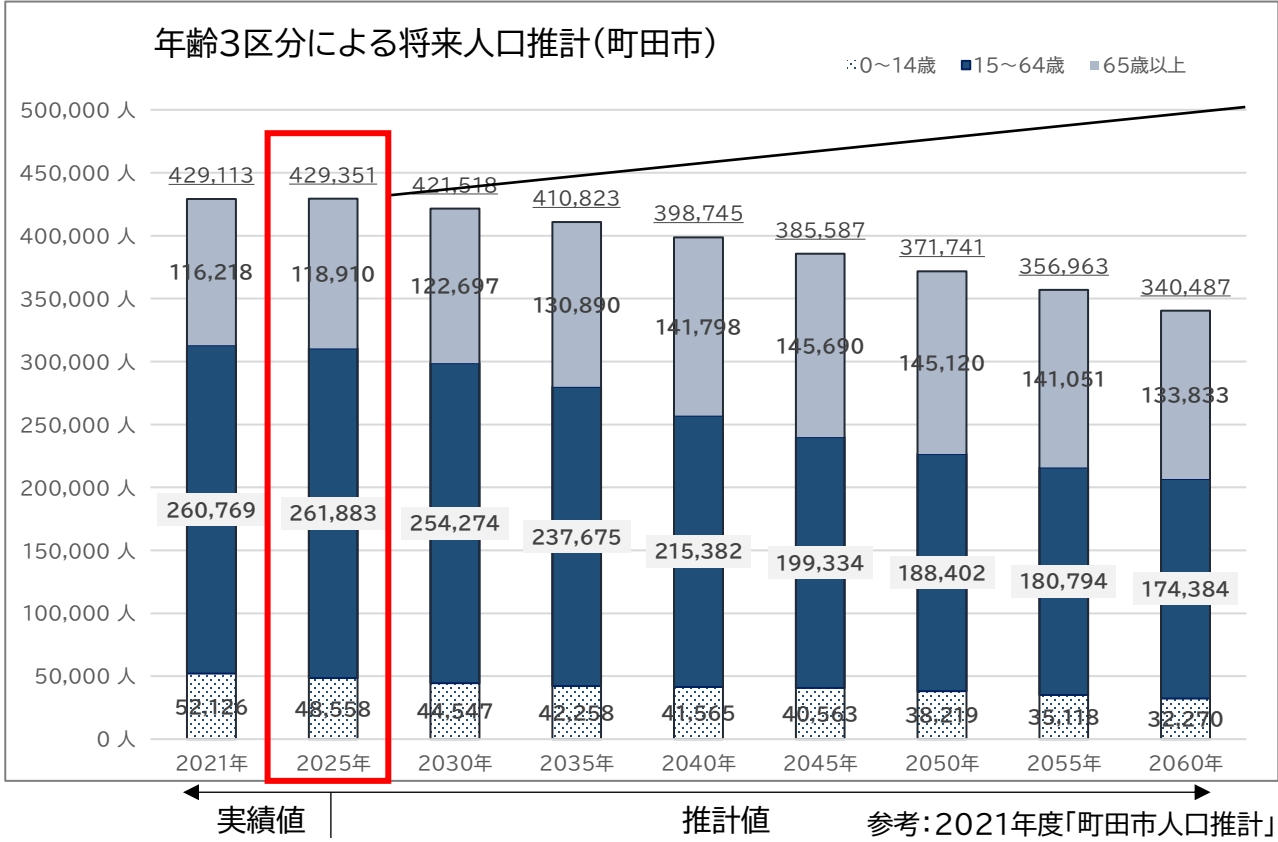
地域課題を解決するオープンイノベーション

第1回 「町田の未来を切り開くオープンイノベーションの推進」

【資料編】



1-1 少子高齢化・生産年齢人口の減少



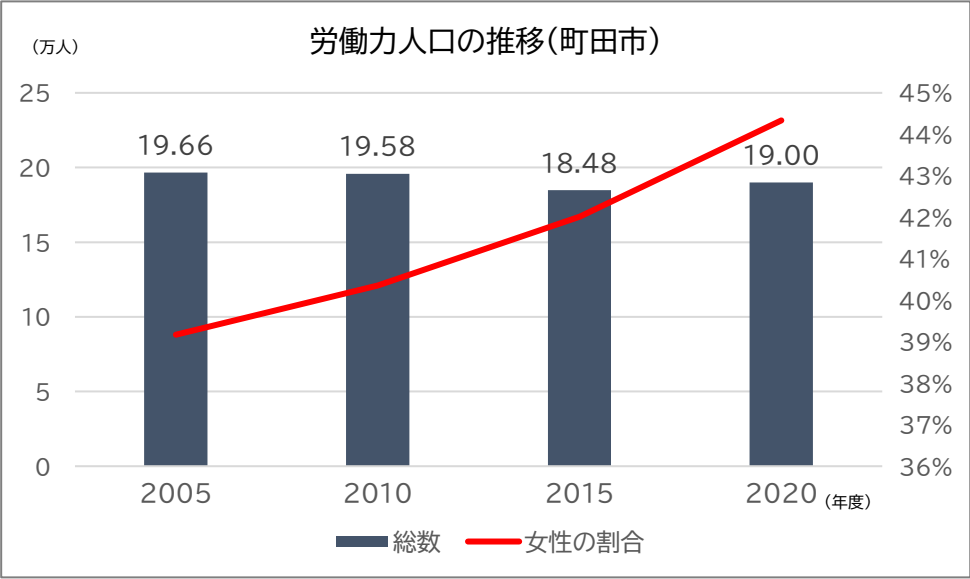
2025年時点の答え合わせ
総数 430,170人
65歳以上人口 117,692人
生産年齢人口 263,857人
年少人口 48,621人

(単位:人)

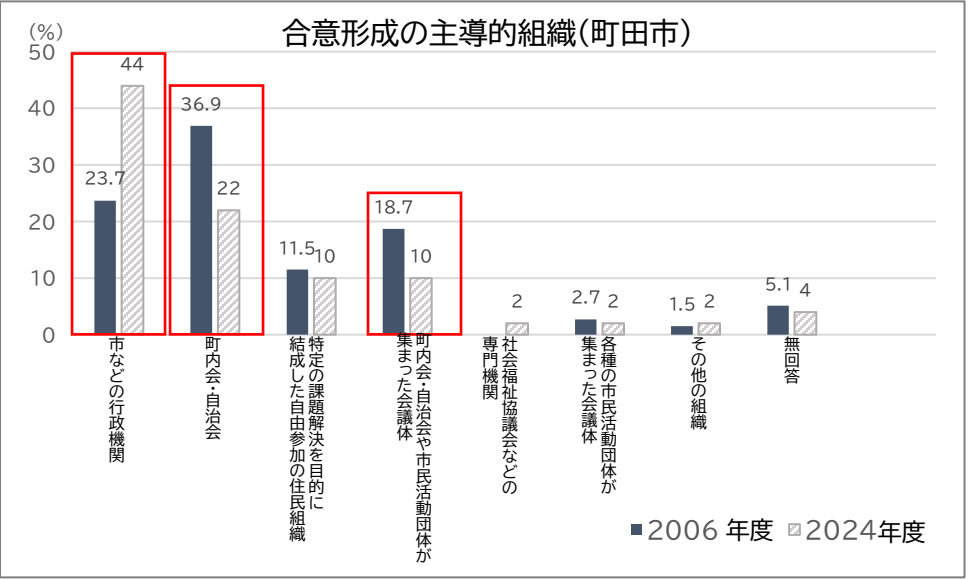
	2022年	2023年	2024年	2025年
総計	430,385 (+816)	430,831 (+831)	430,380 (+11)	430,170 (+819)
0~14歳	51,165 (-80)	50,376 (-37)	49,509 (-23)	48,621 (+63)
15~64歳	262,229 (+929)	263,238 (+1,251)	263,400 (+977)	263,857 (+1,974)
65歳以上	116,991 (-33)	117,217 (-383)	117,471 (-943)	117,692 (-1,218)

- 2021年に実施した人口推計によると、町田市の人口は、2021年から2025年の間にピークを迎え、その後減少を続ける。2060年の人口は2021年と比較して約20パーセント減となる見込み。65歳以上人口は2045年まで急激に増加し、その後緩やかに減少する。
- ⇒ 2025年時点で確認すると、2023年をピークに人口減少期を迎えており、概ね推計どおり。高齢者人口の増加は、医療・介護給付、生活支援などのニーズを高める一方で、人口減少は、日常生活や事業のために必要な担い手 確保することが難しくなるなど、公共サービスの需要と供給の両面において大きな変化が予想される。

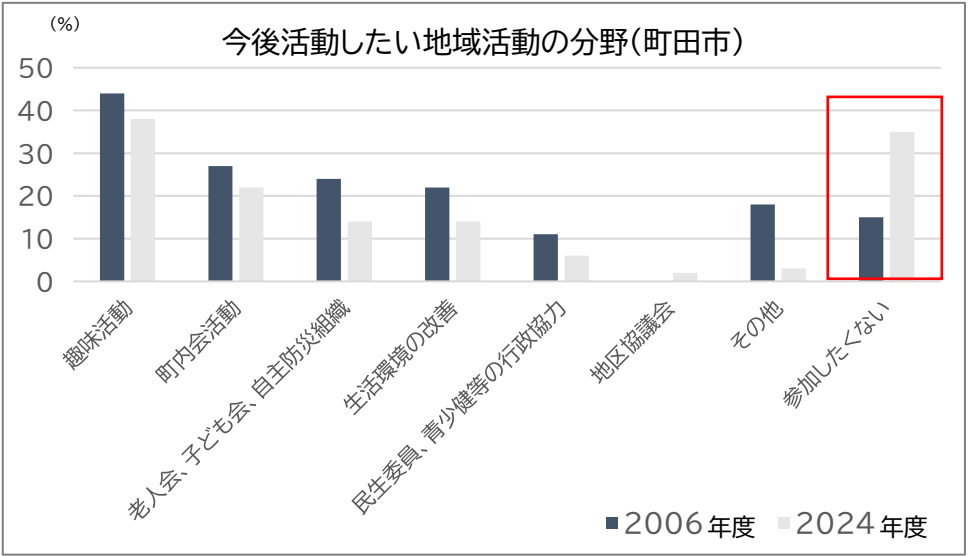
1-2 地域活動団体の状況①



参考:東京都「東京都の統計」

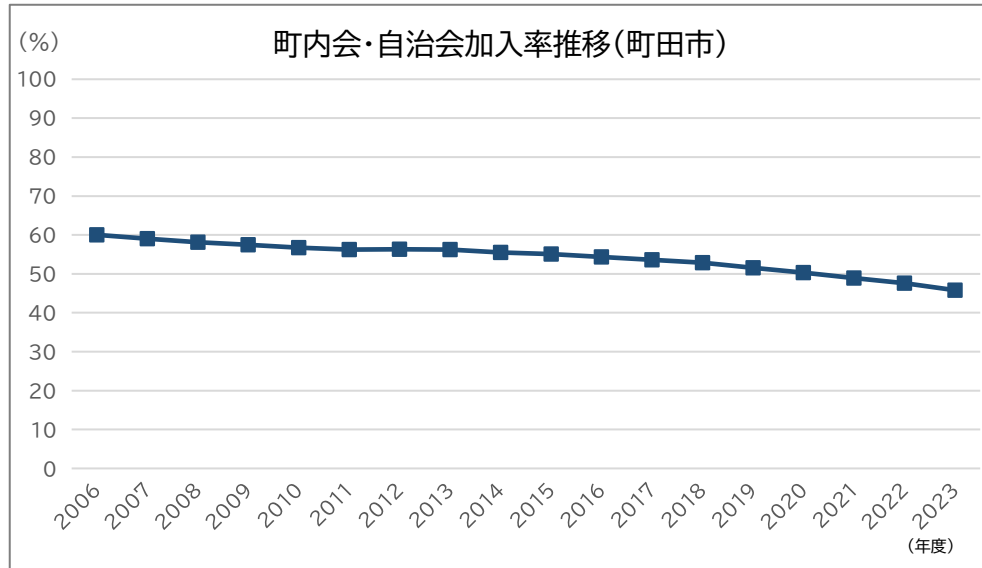


参考:2006年度、2024年度「地域コミュニティに関する調査研究」調査結果

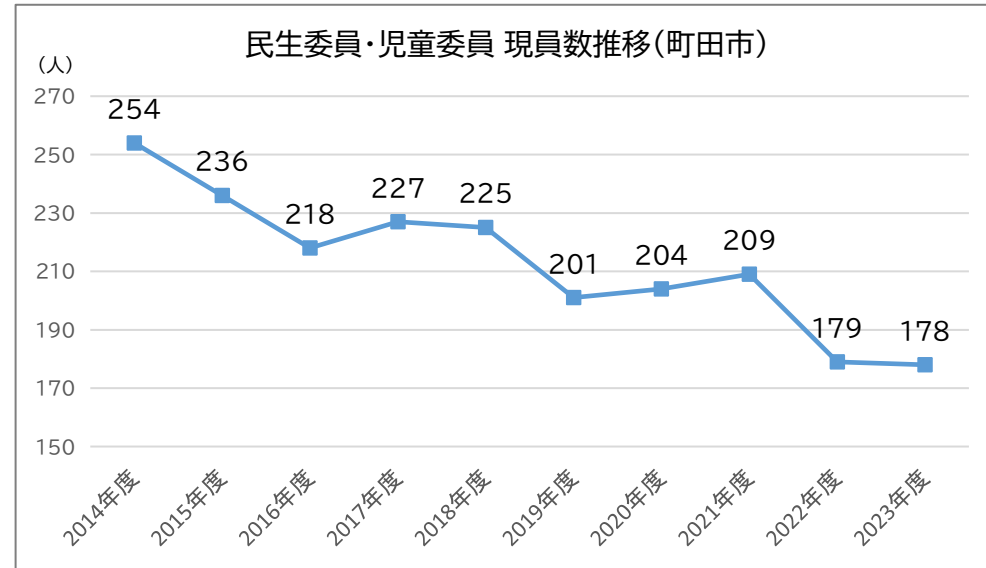


参考:2006年度、2024年度「地域コミュニティに関する調査研究」調査結果

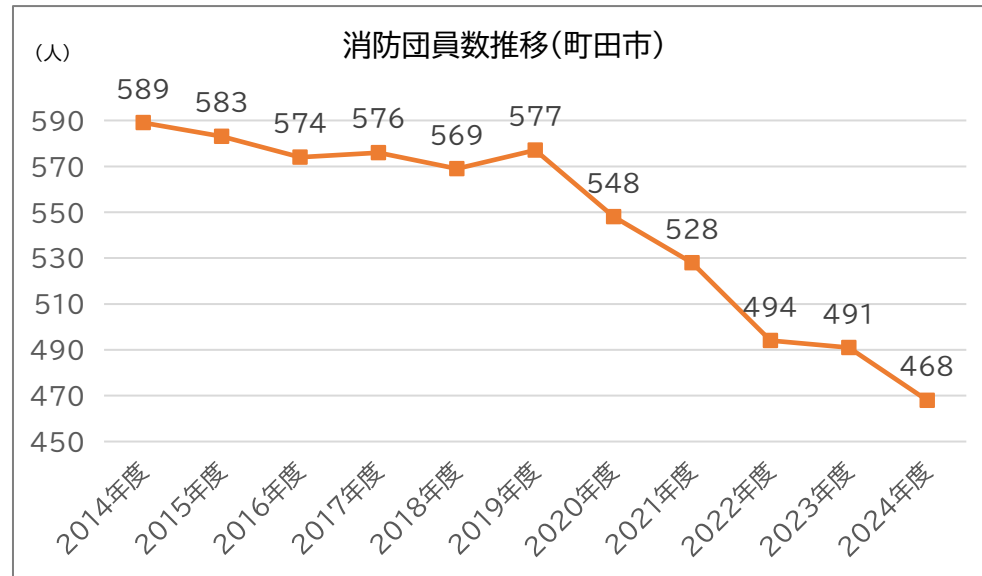
1-2 地域活動団体の状況②



参考:町田市ホームページ



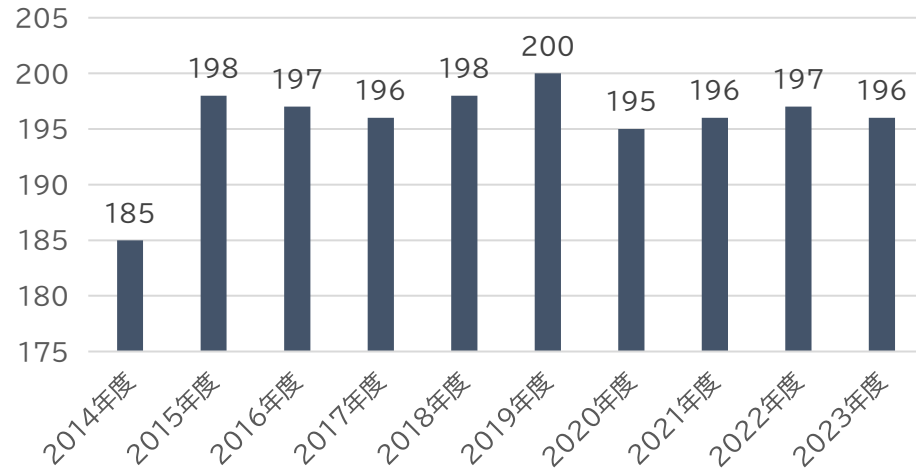
参考:地域福祉部福祉総務課資料



参考:防災安全部防災課資料

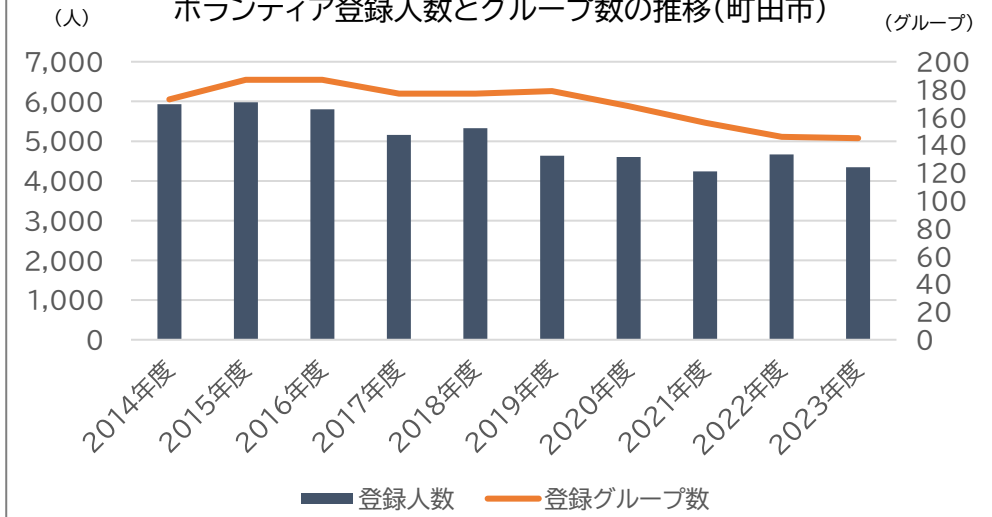
1-3 テーマ型団体等の推移

NPO法人数の推移(町田市)



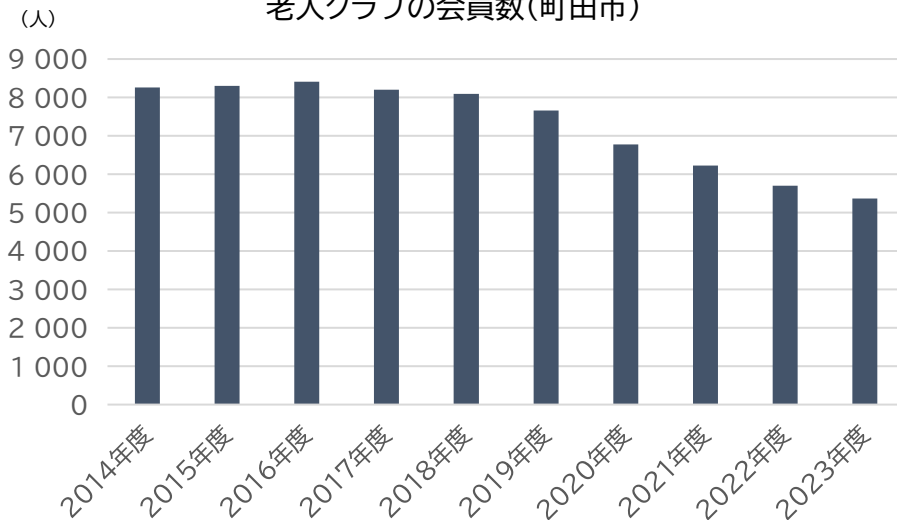
参考:町田市ホームページ

ボランティア登録人数とグループ数の推移(町田市)



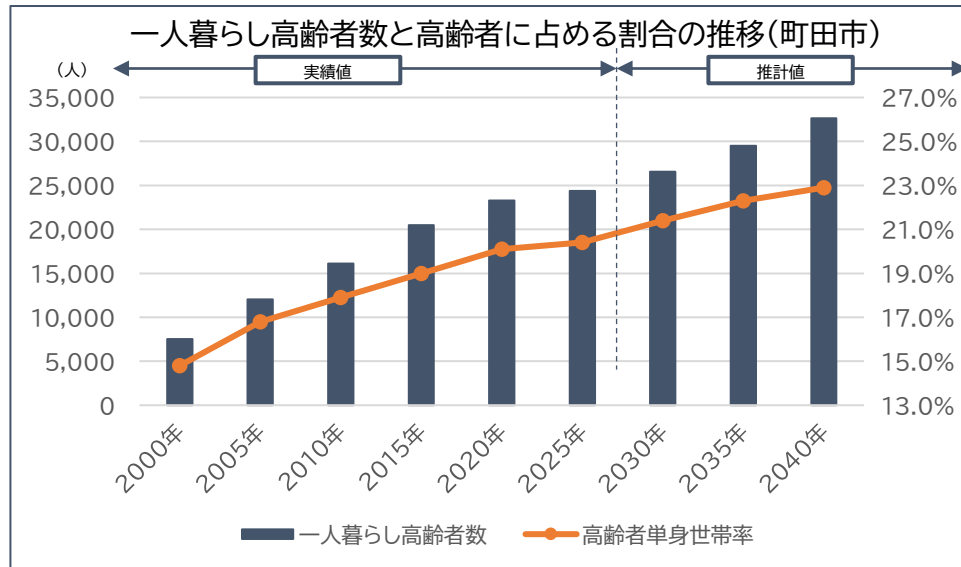
参考:町田市ホームページ

老人クラブの会員数(町田市)

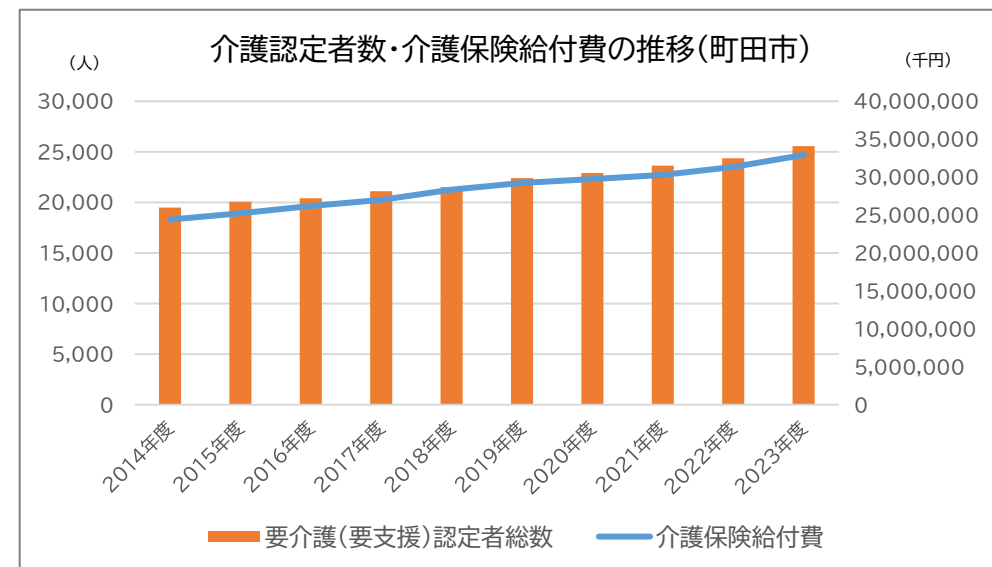


参考:町田市ホームページ

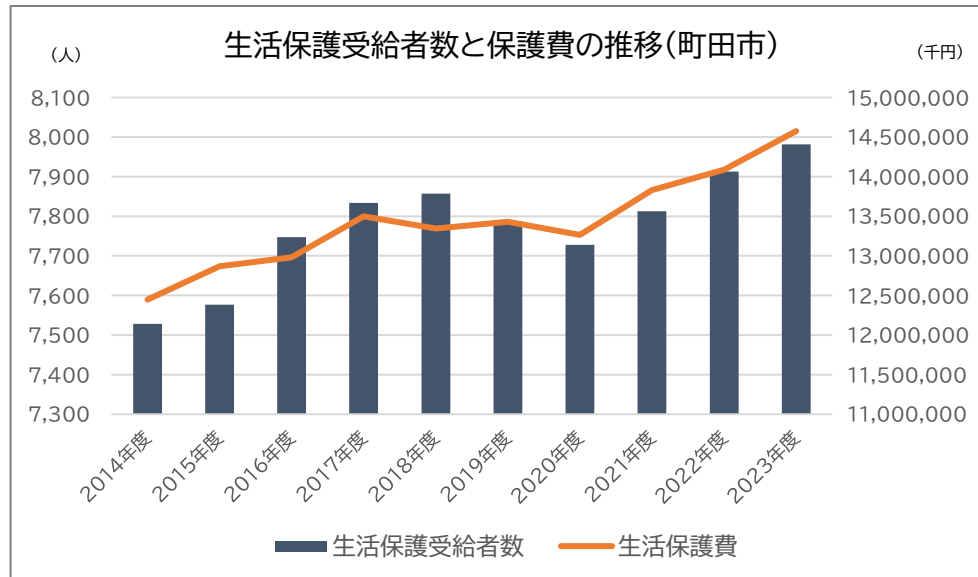
1-4 市内の状況①



参考:「町田市いきいき長寿プラン24-26」

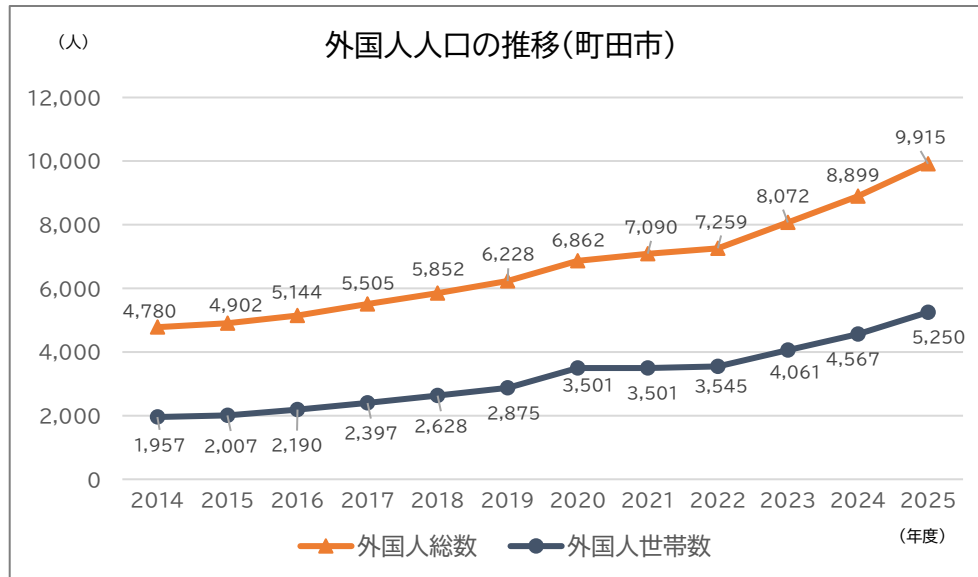
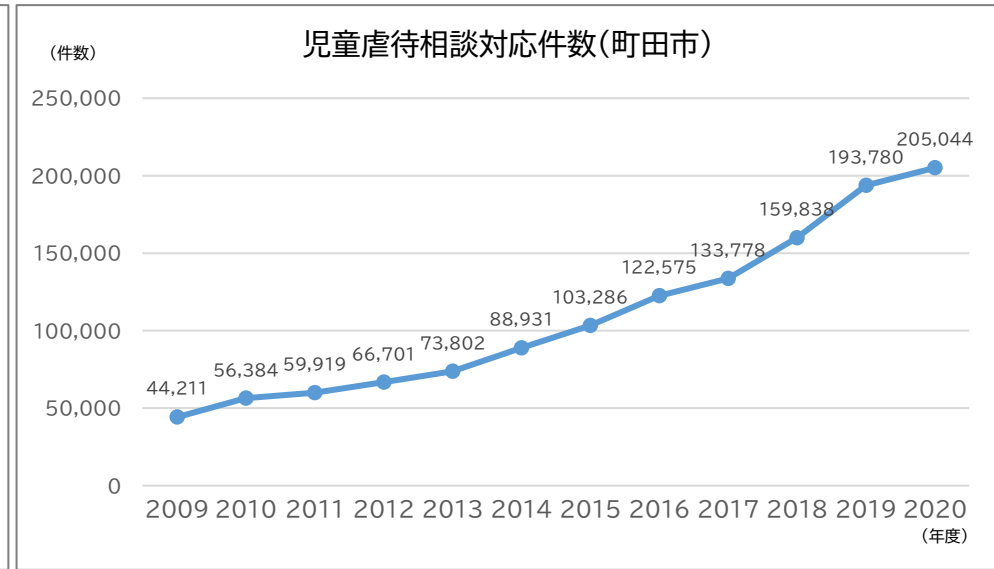
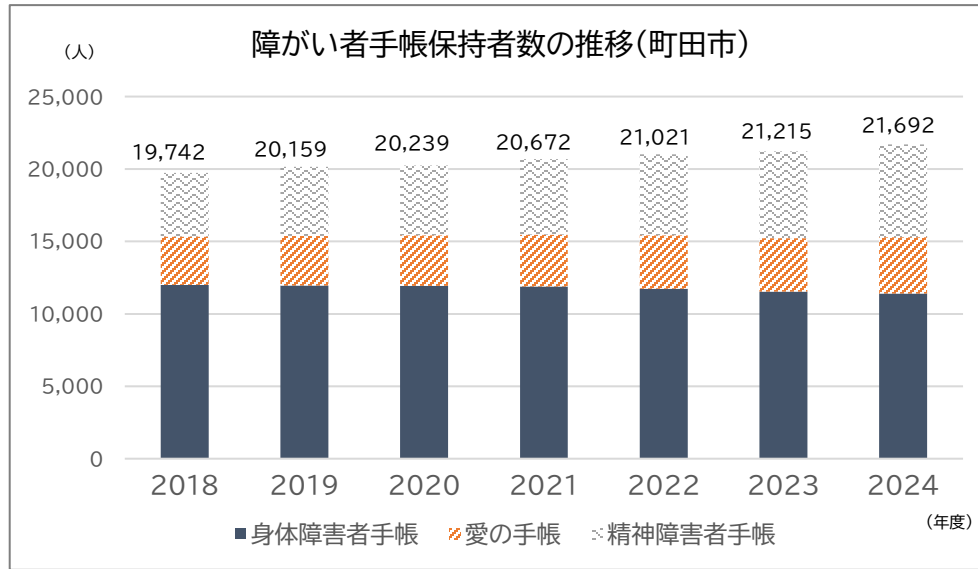


参考:町田市ホームページ

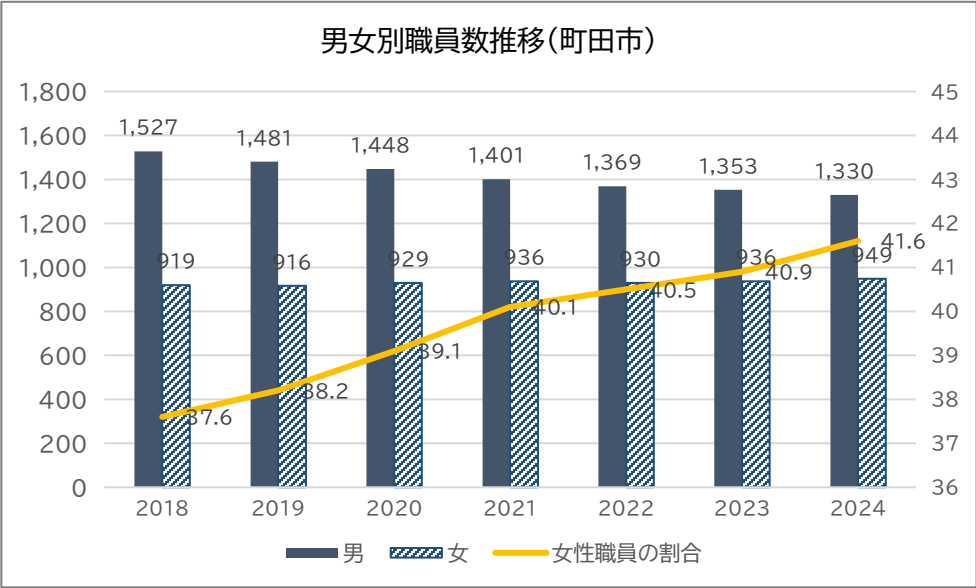


参考:「町田市統計」

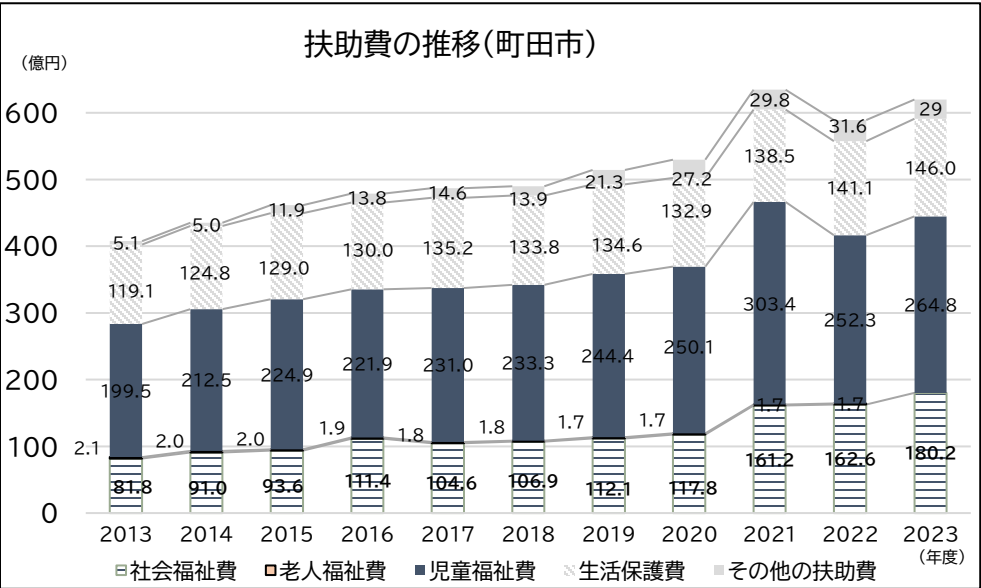
1-4 市内の状況②



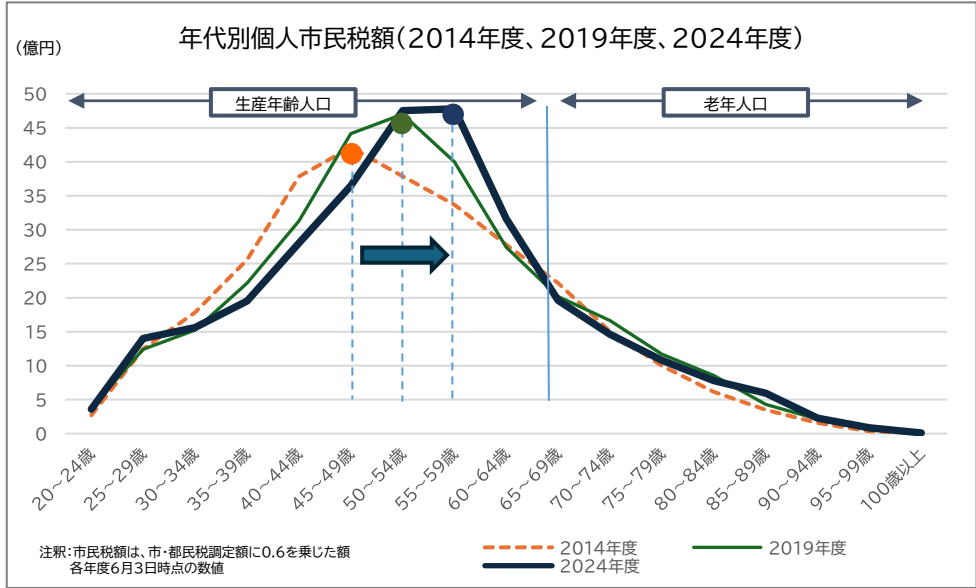
1-4 市内の状況③



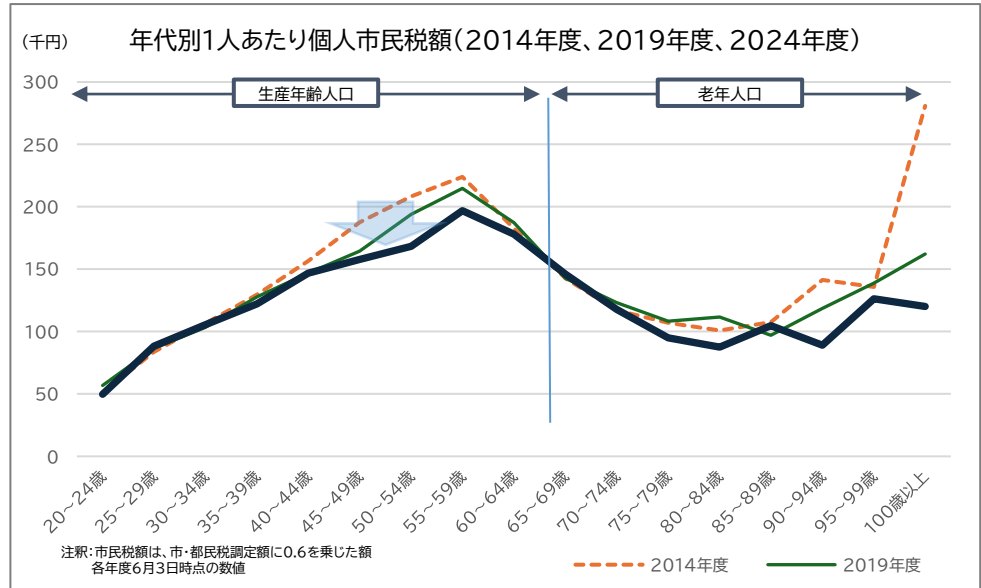
参考:町田市独自資料※町田市民病院は除く



参考:『町田市オープンデータ』『財務部市民税課資料』

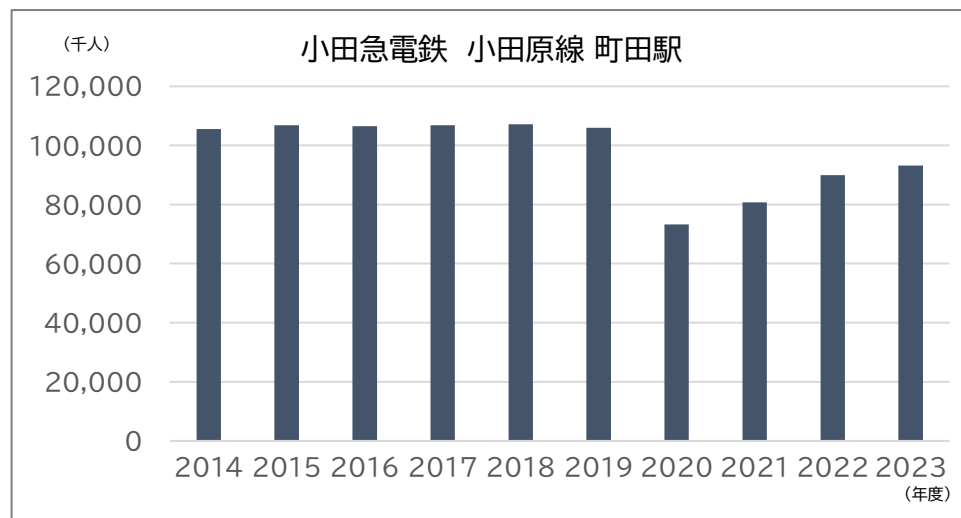


参考:町田市オープンデータ

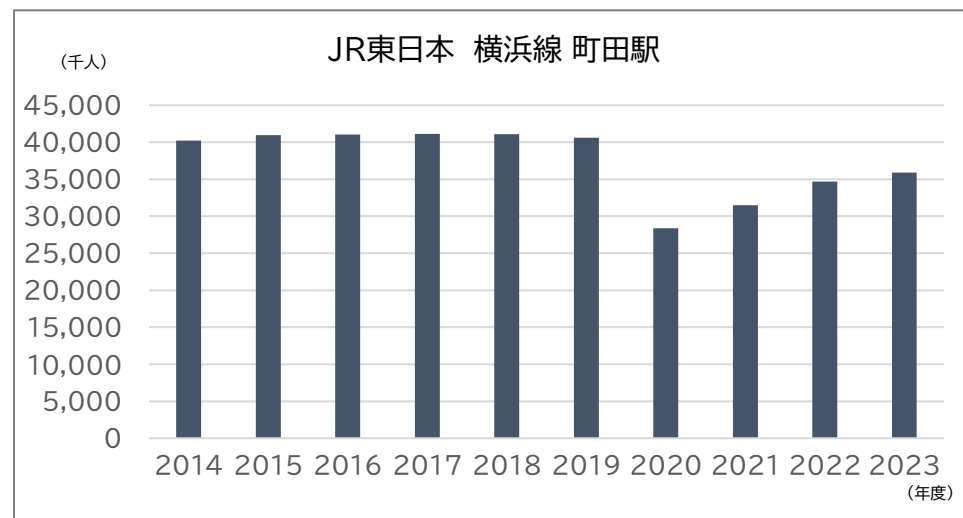


参考:町田市オープンデータ

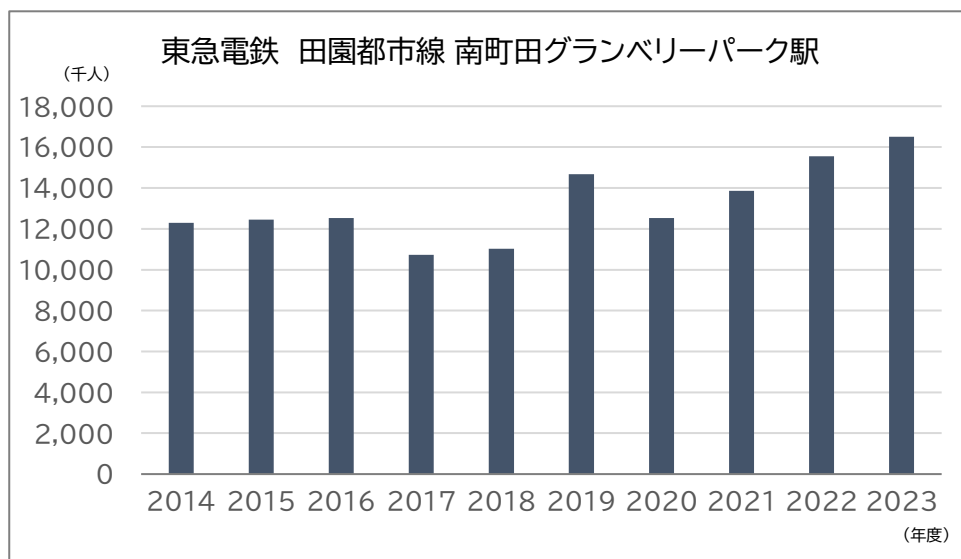
1-5 町田市内主要駅における乗降客数の推移



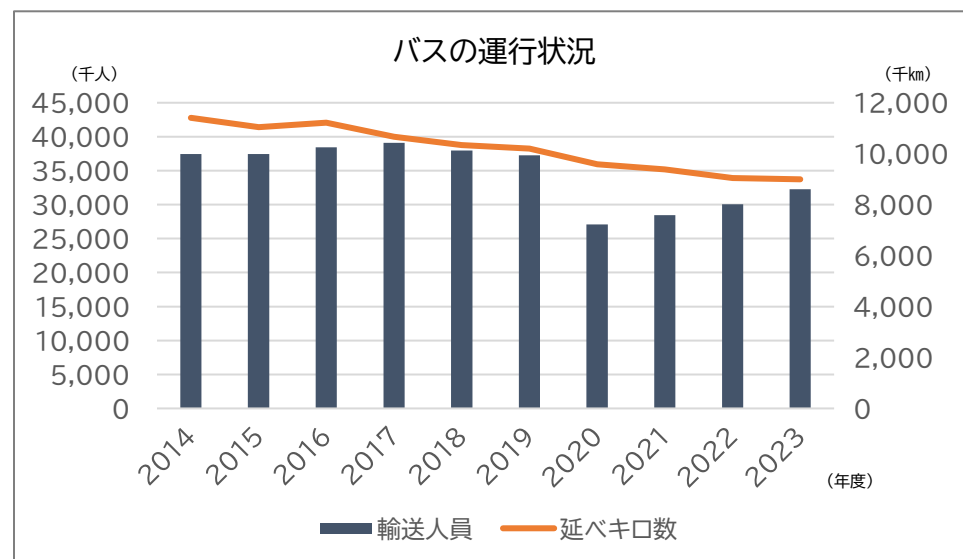
参考:町田市の統計



参考:町田市の統計 ※乗車のみ集計

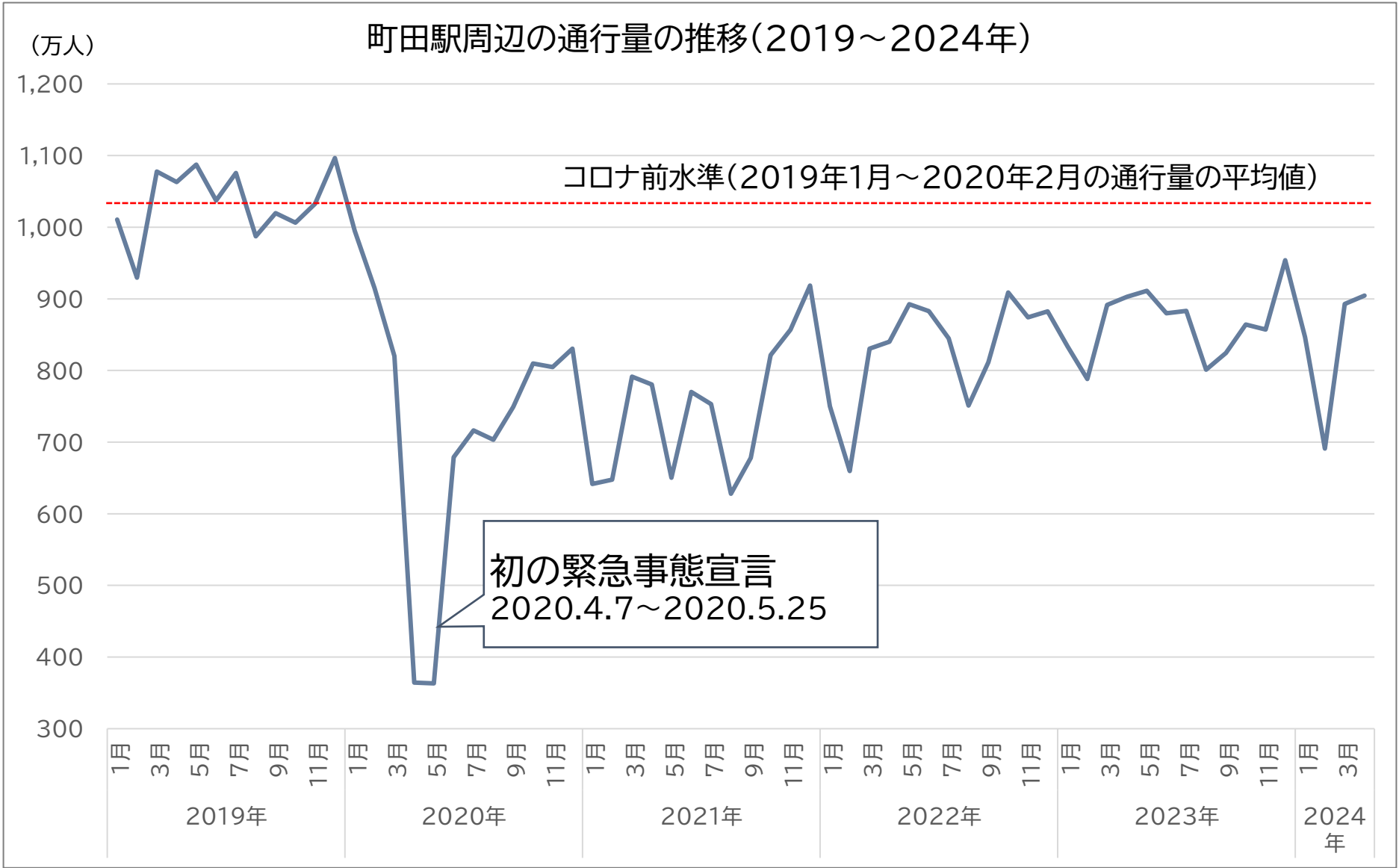


参考:町田市の統計



参考:町田市の統計

1-6 町田駅周辺の通行量の推移



参考:町田市ホームページ「町田駅周辺通行量調査」

1-7 まちだ〇ごと大作戦18-21+1

1 〇ごと大作戦の概要

●ねらい

市民活動・地域活動のつながり

市内外への情報発信

市役所の挑戦

●コンセプト

人と人、人と地域団体との新しいつながりから市民や地域団体の考える夢をみんなでカタチにし、次の世代へのレガシーを創りあげる交流感動都市まちだへ

●推進体制（まちだ〇ごと大作戦実行委員会）

市内の地域団体や経済団体、大学、企業など25団体のオール町田体制の実行委員会で市民の皆さんの夢の実現を応援

●市役所の挑戦

各部署の顧客に目を向け、地域で新しいことを考えている方への呼びかけ、部局を超え、何ができるかといった視点でサポートして、市民や団体等と一緒に地域の課題解決にチャレンジ

2 数字で見る〇ごと大作戦

①提案エントリー件数

316件（目標300件）

相談	エントリー	判定・評価
543	316	272



②参加・参画人数

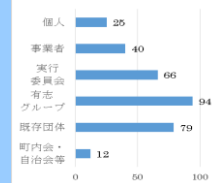
200万人超（目標100万人）

③エントリー316件の現況

ア 作戦実施エリア（件）

南	高ヶ坂・成瀬	町田第一	町田第二	玉川学園・南大谷	木曽	忠生	鶴川	小山	相原	全域*
10	19	41	38	14	12	24	39	10	24	85

イ 提案者の属性（件）



ウ 分野別分類の内訳（%）



エ 1作戦に係る関係部署

平均3課

カ 地域の魅力を活用

58%

キ 事業者や企業が関わった

62%

オ 規制緩和した作戦

25%

ク 都市づくりの関係

28%

ケ 社会課題の解決にチャレンジ

36%

3 作戦事例

SDGs

福祉・若者・子ども



フードバンクまちだ大作戦



SNSやYouTubeで積極的に情報発信



中学生・高校生・大学生の地域貢献・参加

1つの作戦に複数部署が関係

ニュースポーツで多世代交流

いいことふくらむまちだ

事業者・民間企業等のつながり



地域の魅力を活用

規制緩和

4 〇ごと大作戦に参画・参加した方々等の声

①市民・団体・事業者等

・新しい人や地域とのつながりができた・新たな一歩が踏み出した・市や事務局が親身に相談に乗ってくれた・情報発信の支援が良かった・今まで以上に愛着が高まった・これからも町田で活動が続けていきたい等

②まちだ〇ごと大作戦実行委員会委員

・市民のアイデアやパワーに驚きと喜びを感じた・官民連携の情報発信が効果的だった・行政が市民に寄り添った好事業だった等



2ー1 これまでの取組__町田市地域活動サポートオフィス 補足資料 これまでの活動実績

■地域活動に関するコーディネート事業

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
相談対応（来訪相談、アウトリーチによる相談・ヒアリング） 件数	114	137	156	208	246	207

■地域活動に関する情報収集及び発信事業

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
メルマガ配信件数	6	10	13	13	13	14
広報誌「サポートオフィス通信」発行回数	6	10	9	10	10	10
SNSフォロワー数	1,795	2,345	3,008	3,640	3,983	4,349

■地域活動を行う組織の基盤強化及び人材育成事業

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
講座開催回数	15	24	28	28	23	23
受講者数	205	337	386	454	473	469

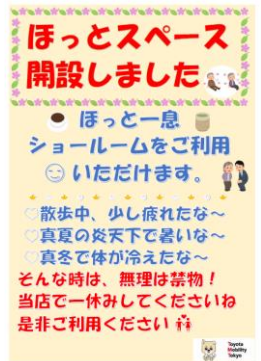
2-2 これまでの取組__寄り合い-The YORIAI- 補足資料 これまでの活動例

■寄り合い-The YORIAI-「高齢者が出かけたくなるまちってどんなまち？」

高齢者に関わる地域課題に対して多角的な解決策を検討・実施することや、地域課題解決のための新しい仲間づくり等を目的に開催。社会福祉協議会、福祉事業者、民間事業者、町田市役所関係課が参加。

【生まれたプロジェクト】

- ・ピクニックのように出かけたくなる場をつくる「まちぴく」
- ・多世代交流が生まれるマルシェを団地の広場などで開催することを目指す「あなたの街にもハッピーマルシェ」
- ・話や交流が生まれるように街の様々なところに立ち寄れる場所を設ける「まちかどホッとスペース」



■寄り合い -The YORIAI-「つくし野を盛り上げるために10年以内にできそうなことは」

未来のつくし野について考える機会を設けることや、街の活性化に向け具体的な取り組みを創出すること等を目的に開催。つくし野地区の町内会・自治会、町田市役所関係課が参加。

【生まれたプロジェクト】

- ・セントラルパークを拠点に短期で実行に移せるイベントの開催と、桜の復活などといった長期的な計画を検討する「つくし野セントラルパーク楽しみ隊」
- ・誰でも参加できる、体験学びができる、地域の交流が生まれるような企画を駅前で開催する「駅前パーク化プロジェクト」



■寄り合い -The YORIAI-「小山地区を浸水被害から守るためには」

水害の危機が迫った時に地域で避難できる体制を整えることや、新たなつながり生むことで水害にあった際の協力体制を整えることを目的に開催。小山地区にお住まいの方や事業者が参加。

【生まれたプロジェクト】

- ・浸水想定区域となっている住民の車を事業者の協力を得て小山ヶ丘地区に避難する方法を検討する「車避難検討プロジェクト」
- ・単独での避難が困難な高齢者の避難方法について検討する「高齢者の避難方法検討プロジェクト」
- ・地域同士、企業同士、地域と企業の連携を深めることで、地域防災の向上を目指す「地域・企業連携、地域マップ作成プロジェクト」



2-3 これまでの取組__まちだ若者大作戦 補足資料 これまでの作戦例

■Music at 四季彩の杜西園「ムジカ」（まちづくりプラン）

【作戦の目的】

- ・ 町田市の公園を活用した地域おこしを行う。音楽が生まれ育つ街の創出する。
- ・ 高校生、大学生世代で音楽を頑張っている人の発表の場や経験の提供にする。新しい音楽に興味を持つためのきっかけ作りをする。

【取組内容】

高校生、大学生世代で音楽を頑張っている人の発表の場や経験の提供、音楽が生まれ育つまちの創出を目的に、町田薬師池公園四季彩の杜西園で、野外音楽フェスを開催。



■いいことふくらむ高ボラ(まちづくりプラン)

【作戦の目的】

- ・ 高校生が療育体験をして、正しい知識を得ることで障がいへの理解を深め、みんながみんなのことを考えられるようにすること。

【取組内容】

高校生が町田市子ども発達センターで、支援が必要な子どもたちと触れ合う体験ができる「高校生療育体験ボランティア」の実施。「インクルーシブ社会に向けての啓発」というテーマで、関連施設と連携しながら情報発信。



■希望の扉大作戦（やりたいこと実現プラン）

【作戦の目的】

- ・ 不登校の子ども達の居場所を知るきっかけづくりと情報提供
- ・ 不登校の子ども達が安心して話し、遊ぶことのできる交流の機会創出と一人ひとりに合った居場所探し

【取組内容】

不登校の子ども達の居場所づくりを目的に、大学生が主体となって子ども達の交流活動を実施した。また、子どもたちが活動できる場として、子ども食堂を紹介するチラシを作成。



2-4 これまでの取組_民間提案制度 補足資料

(1)これまでに募集したテーマ

No.	テーマ	テーマ概要
1	市税に関する諸手続きの電子化推進	事業者や市民に対して、市税の電子申告やキャッシュレス納付の利用を促す取組、地方税の手続きを電子的に行うシステム「eLTAX(地方税ポータルシステム)」利用を促す取組を募集
2	高経年団地の活性化	高経年団地への若年夫婦や子育て世帯の流入の促進等、団地の活性化につながる取組を募集
3	学校給食を活用した食育の推進	児童生徒向けの食育の取り組み及び小学校・中学校で提供する魅力的な給食献立を募集
4	健康的な食生活の推進	健康的な食生活の実践に関心がある人も関心がない人も、自然と望ましい食生活の実践につながるアイデアを募集
5	竹林および竹資源の利活用	伐採竹を、廃棄物ではなく資源として利用するものと捉え、活用していくアイデアを募集
6	伐採樹木の活用	伐採樹木を、貴重な資源として活用していくための幅広いアイデア及び共に取り組む民間事業者を募集
7	文学館の魅力発信事業	文学館の魅力を向上させる取組(展覧会・イベント・読書体験等)についての提案を募集
8	本に興味がなくとも訪れたい図書館「映える図書館」を創造する	中央図書館全体を使ったレクリエーション・イベント等の継続的な活用提案を募集
9	地球温暖化対策に向けた普及啓発	地球温暖化対策に向けた普及啓発の推進につながる取組の提案を募集
10	共生社会の実現に向けた普及啓発活動の推進	多様な人への差別や偏見をなくす心のバリアフリーや合理的配慮についての啓発事業につながる提案を募集
11	市の情報発信ツールの認知度向上、新しい広報ツールの提案	市の情報発信ツールを市民に周知する手段や、新しい情報発信の手段の提案を募集
12	指定喫煙所からの煙や臭い対策	パーテーション型指定喫煙所からの煙や臭いへの対策の提案を募集
13	鳩避け対策の社会実験場の提供	実際に鳩フン被害を受けている場所を実験場として提供し、鳩避け対策に関しての実験をして実効性のある対策を探っていくため、幅広い提案を募集

※その他、未利用の市有地活用4件、調整池用地の有効活用1件、町田市の資源の活用2件

(2) フリー型提案採用された事業者からの提案

No.	テーマ	提案概要
1	誰でも開設できる避難所を実現する避難所開設・運営支援アプリ NHOPS	「NHOPS」はスマートフォンやタブレット端末からアクセスできるWebアプリで、避難所開設・運営を誰でも行えるように開設手順を示すことができます。本アプリを利用した実証実験を行い、本サービスの有効性の確認や課題の抽出をするとともに、地域防災力・共助の強化につなげます。
2	複業(副業)人材を活用した行政課題の課題解決	「複業クラウド」を活用し、行政課題を複業人材のマッチング事業で解決します。
3	障害者雇用定着支援プログラム	障がい当事者を含む専門家チームを自治体に派遣することで、ピアサポート(障がい当事者同士の支援)と専門的知見を組み合わせた包括的な障がい者雇用支援システムを提供します。